

たしかなかたち・2ndステージ BBBながのプロジェクト

取組に至る背景・事業の目的

「富士宮やきそば」や「甲府鳥もつ煮」など全国的に展開されている「食」をテーマにした地元ブランド創出のブームをとらえ、地産地消につながる長野の新名物創出し、地域の活性化を図ることを目的として、市民公募、市民参加によるB級グルメコンテストを開催する。

事業内容

飲食業関係者や一般市民が参加するB級グルメフォーラムとコンテスト参加説明会を4月に開催し、名物創出による地域活性化の機運醸成を図った。

1次・2次選考を経て選出した3作品からグランプリを決定するコンテストを長野びんずる祭に合わせて行い、来場者300人の投票の結果、長野の新名物「長野ヤキメン」が誕生した。

【長野ヤキメンとは（平成23年度現在）】

①専用の麺を②信州味噌と③ニンニクで作ったソースを絡め、④たまごと⑤長芋をトッピング

グランプリ作品を扱う飲食店38店舗を掲載したヤキメンMAPの配布やのぼり旗の掲示など、新名物の普及と地域定着に向けた積極的な取組を行っている。

事業効果

フォーラムには136人の参加者、コンテストには130作品の応募があり、事業全体を通じて多くの参加者を得て、B級グルメによる地域活性化について理解を広めることができた。

長野びんずる祭の際に実施したコンテストには300枚のコンテスト参加チケットが完売したほか、チケット数以上の来場があり、新B級グルメの情報発信がされた。

また、取扱店舗を増やし周知することにより新たな外食需要の創出に寄与している。

積極的な広報活動により報道機関等の各種媒体に採り上げられ広くPRができ、観光誘客の一助となっている。



【コンテスト当日の様子】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

ブランドのクオリティを高めるため、認定店制度を開始したほか、取扱認定店舗で様々な特典が受けられる市民サポーター制度「麺バー」をスタート。

また、長野ヤキメン誕生1周年にあわせ「ヤキメン万博 in びんずる 2011」を開催し、試食会や親子料理教室を行い、市民認知度アップや取扱店舗の増加に向けた取組を行っている。

【選定のポイント】

長野の新たなB級グルメの創出と取扱店舗の拡大により、商業振興が図られたほか、フォーラムや市民公募のコンテスト開催を通じて市民が地域振興を考える機会が得られた。

団体名	社団法人長野青年会議所（長野市）	事業タイプ	ソフト事業
	BBBながのプロジェクト実行委員会	事業費	3,239,329円
ホームページ	http://bbb-nagano.com/	支援金額	2,795,000円
メールアドレス	yggns051@yahoo.co.jp		